



ひしのみ

山形市立明治小学校
学校だより
R. 3.2.5 発行
校長：岡田 伸

令和2年度の学校評価の結果から

ご協力をいただきました学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告します。今年度はコロナウイルス感染予防対策をとらざるを得ない中、保護者の皆様からは、全般的に良い評価をいただきました。ただし、地区役員の皆様の評価については、学校にお招きし子どもたちの様子を見ていただく機会をとることができなかったため無回答が多く、参考値となることをご理解ください。ここでは、児童の自己評価を中心に分析したことをお伝えいたします。

目標・挑戦

- 「自己肯定感」「夢や目標」については、引き続き高い数値となりました。特に夢や目標を持っているについては、昨年よりも上回る結果となりました。目ざすものが明確になっている子が多いことは、大変良い傾向にあります。
- 「困難への挑戦」が昨年と同様の数値となりました。低い数値ではないのですが、同様の傾向が続いており、数値として今後上昇させたい項目です。解決が難しい課題に向き合った時の勇気づけを大切にし、今後も指導にあたっていきたいと思います。

かかわり

- 「友だちの話を聞く」「探究学習」の項目が、昨年より上回る結果となりました。「聞く力が育っている」と意識できる子が増えたことは、より豊かな学び合いにつながります。また「探究学習」については、限られた時間の中で総合的な学習や校内研究が成果をあげることができたと考えられます。
- 「考えを伝える」「地域との交流学習」の数値が昨年より下回りました。これはコロナウイルス感染予防の影響で、学習活動が制限された影響が大きいと考えられます。

生活

- 「なかよし班活動」や「自分の命を守る」については、昨年と同様に高い評価となっています。工夫された楽しい活動を通して、なかよし班活動に楽しみを見いだしている子が多いようです。
- 「自分たちで楽しい活動」「約束を守る」「困っている人を助ける」の項目も高い評価です。かかわりの中で優しい気持ちが育っている様子が伺えます。

家庭・地域

- 「あいさつ」は子どもたちの評価は高いです。職員や保護者の方々との評価がより一致するとより良い傾向であると考えます。
- 「規則正しい生活リズム」については昨年よりもポイントが下がりました。コロナウイルスによる生活リズムの乱れが考えられます。継続して見守る事が必要です。

教科の学習

- 全体的に多くの項目で、数値が下がりました。コロナウイルスの影響で、通常通りの学び合う学習ができなかったり、授業時数が削減され余裕がなかったりしたことが影響していると思われます。

【今後に向けて】 以下について力を入れ指導していきます

- ・ 困難な場面に出会った時、乗り越えようとする挑戦心の更なる育成。
- ・ 繼続的な感染対策と子どもたちの学び合いの保障、および工夫した読書活動の推進。
- ・ 規則正しい生活リズムの定着と自主的な健康・体力作りの推進。

令和2年度の教育活動を振り返って（学校評価、児童アンケートの結果より）

※Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として、4段階の平均を表にしました。評価の見方は、次のようにになります。

3点…B だいたいできている
1点…A たいへんよくできている、がんばっている

※平均3.5以上を高評価として○、3.0未満を改善が必要として△で表しています。

*地区的皆様は地区役員の方にご協力いたしましたが、今年度は学校にお招きできなかつたため、分からぬという回答が多く、参考数値となります。

令和2年度 学校評価のまとめ

まなづくり											
からだづくり											
こころづくり											
P TA活動参加	生活リズム	家庭・地域	教育全般	発信子どもの様子の	対相談に対する	全職員の連携	安全・安心の教育	健康・体力の向上	規範意識を高める工夫	行事の工夫	明地域素材に学ぶ良さ
1.1	2.9	3.1	3.3	3.4	3.6	3.6	3.6	3.3	3.7	3.6	3.6
職員	1.7	3.5	3.5	3.9	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.8	3.6
地区	1.3	3.1	3.1	3.1	3.5	3.3	3.1	2.9	3.2	3.4	3.4
全保護者	7.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.3	3.4	3.6	3.6